



すずき

W
Power Alliance Tax Accountant Office
パワーアライアンス税理士法人
News

編集 発 行 人

パワーアライアンス税理士法人
税理士 若 杉 治

〒151-0073

東京都渋谷区笹塚3-37-1
第1花井ビル2F

TEL 03 (5365) 4744(代)

FAX 03 (5365) 4745

E-mail info@wakasugi.zei-mu.net

◆ 9月の税務と労務

国 税	8月分源泉所得税の納付	9月12日
国 税	7月決算法人の確定申告(法人税・消費税等)	9月30日
国 税	1月決算法人の中間申告	9月30日
国 税	10月、1月、4月決算法人の消費税等の中間申告 (年3回の場合)	9月30日



9月

(長月) September

19日・敬老の日 23日・秋分の日

日	月	火	水	木	金	土
.	.	.	.	1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	.

ワン
ポイント

相続の承認・放棄の選択期間 相続人は、相続の開始を知った日から3か月以内に、亡くなった人の財産や借金に対し、①全て受け継ぐ単純承認、②相続財産の限度で借金を受け継ぐ限定承認、③相続放棄、のいずれかを選択しなければなりません。東日本大震災の被災者である相続人に限り本年11月30日まで選択期間が延長されています。

公平な貿易のしくみ

～フェアトレード～

■フェアトレードとは

コーヒーやチョコレート、バナナ、衣類など、私たちの身近にある輸入品の多くは発展途上国で作られています。本来なら貿易によってこれらの産地の生産者は豊かになっていくはずですが、

しかし、現在の貿易のルールは、途上国の人々にとってとても不利な側面があります。丹精込めて作っても、市場の知識がなく業者と直接交渉する手立てを持っていないことなどから、中間業者の言い値で売らざるをえなかったり、国際相場に翻弄されたりして、最終的に生産者の手に渡るのは私たちが商品に対して支払った金額のうちのごくわずかなことになってしまいます。

そのため途上国の生産者は、とても厳しい生活を強いられているのが現状で、低賃金で子供たちを働かせたり、生産性を上げるために農業を過度に使用して自らの体や環境にダメージを与えるような生産方法に頼ったりしています。

私たち買う側にとって、安全・安心で品質の良いものをできるだけ安く手に入れたいと望むのは当然のことですが、作る人たちが安定した生活を営み、より良い農作物作りに励めるよう

な健全な社会のしくみを作っていくこともとても重要なことです。そのための仕組みづくりの活動が「フェアトレード」です。

■フェアトレードラベル



上のラベルは、「国際フェアトレード認証ラベル」です。このラベルのデザインに表されているのは、フェアトレード運動における「生産者」と「消費者」です。海を隔てていても、生産者と消費者との間でパートナーシップを築き、そのつながりを通してサポートし合う、そんなフェアトレードが目指す世界が表現されています。

このラベルは、次の国際フェアトレード基準を満たす製品に与えられます。

- ① 生産者への適正な価格と長期的な取引が保証されている製品
- ② 児童労働や強制労働が禁止され、生産者の労働環境や労働条件が保証されている製品
- ③ 生産技術や生産管理などの指導が行われ、輸出品質基準を満たしている

製品

- ④ 生産者が生産組合を作り、社会的にも経済的にも発展することが保証されている製品
- ⑤ 農薬の使用や水質・森林・土壌の保全、廃棄物の取り扱いに関しての国際基準が遵守されている製品

■フェアトレードラベル運動の始まり

フェアトレードラベル運動は、1980年代にオランダで始まりました。南米のコーヒー農家の支援に奮闘していた神父とボランティアの青年によって最初のフェアトレード認証ラベルが作られました。彼らはフェアトレード製品を多くの人々の身近に流通させることが必要だと考えました。

オランダから始まったその動きはすぐにヨーロッパ各国に広まり、1997年にはFLO（国際フェアトレードラベル機構）が発足しました。現在オランダでは、消費者の90%がラベルの意味を知っているほど普及しています。

フェアトレード市場は年々成長しています。最も大きな市場であるアメリカとイギリスでは、合わせて900億円のフェアトレード製品が販売されています。日本では、現在20社以上の企業でフェアトレード製品の取扱いを行っており、今後さらに多くの企業がフェアトレードへの取組みを開始することでしょう。

制限時間内に一定の人数が集まることを条件に、ネット上でお得な割引クーポンを販売するサービスが、現在注目を浴びています。このクーポンが注目され始めたのは、アメリカ発のサービス「GRUPON（グルーポン）」がきっかけです。

日本でも、2010年4月より類似サービスが続々と登場しており、その数は2011年1月には200サイトに迫る勢いです。短期間でこれほどまでに急増したのは、お店側としては新しい顧客を開拓できるというメリットが、消費者側としては大幅な割引を受けられるというメリットがあることが要因として挙げられるでしょう。

クーポンの仕組み

このクーポンは、割引クーポンであるという意味では、従来からあるクーポンと何ら変わりはありません。しかし、共同購入型クーポンは、店舗に持ち込んで会計時に割引を受けるのではなく、割引クーポンそのものを事前に購入する仕組みをとっており、一般的なクーポンより割引率が高くなっています。

クーポンの種類

扱われている商品には、レストランのコース料理やグルメ商品、エステといった美容に関する商品、ホテルの宿泊、旅行券や商品券などがあります。変わり種としては、オーダーメイドスーツを格安で購入できるクーポンもあります。

共同購入型クーポンサイト

取引成立枚数がある

これが共同購入型クーポンの最大の特徴でしょう。共同購入型クーポンは、ある一定の人数がそのクーポンを購入しないと成立しません。成立しなかった場合、そのクーポンは購入できないことになります。

購入期限がある

購入期限が決まっていることも、共同購入型クーポンの特徴の一つといえます。例えばグルーポンは、「24時間以内」などと決まっており、その時間内に取引成立数に達しなければいけません。

このクーポンの購入サイトにはタイマーが表示されているものが多くあります。「時間内に規定人数に達しなければ自分はこのクーポン

を手に入れることができない」と思った購入希望者が、そのクーポンを友人に紹介して購入を促すといった効果を狙ったものといえます。

共同購入型のデメリット

安いクーポンをお得に買える共同購入型クーポンですが、いくつかのリスクもあります。

まず、ほとんどのクーポンには使用期限が設けられており、せっかく購入しても期限が過ぎれば、そのクーポンは価値がなくなってしまいます。

また、サイトの写真と実物とがあまりにも違いすぎたとして販売元が行政処分を受けたケースや、クーポンを過剰発行してしまい、サービスが全員に行き渡らないといったトラブルも発生しています。

そのため、クーポン共同購入サイトへの新規参入数は今年に入って鈍化しています。また売り上げも大幅に落ち込んでいます。他のサイトとの提携や新規会員獲得キャンペーンで生き残りをかける中堅サイトが多い一方で、販売枚数の伸び悩みや商品確保に行き詰まり、サービスを事実上停止しているサイトや、他社に事業譲渡をするサイトもいくつか見受けられます。

今後は、購入希望者と提携企業や店舗とがしっかりと信頼関係を築くことができるサイトの構築が、ますます求められていくことでしょう。

iPS細胞とは

iPS細胞とは、皮膚細胞などから人工的に作られた万能細胞のことをいいます。万能細胞からは、ヒトの身体のあらゆる部分を作製することが可能になります。

2007年11月に、京都大学の山中伸弥教授の研究チームと、アメリカのウィスコンシン大学の研究チームが、世界で初めてiPS細胞を作ること成功したと発表しました。

それまで万能細胞といえばES細胞と呼ばれる胚性幹細胞のことでしたが、ES細胞は赤ちゃんになるヒトの受精卵から作るため倫理的な問題が指摘されていました。また、ES細胞から作られた移植用の細胞や組織は、拒絶反応を起こす可能性があります。

その点iPS細胞は、受精卵ではなく皮膚細胞のように採取に差し支えない体細胞を使って作製できるので、受精卵を破壊する

必要がなく、倫理的な問題はクリアされています。

またiPS細胞は患者自身の細胞から作製することができ、分化した組織や臓器を移植した場合、拒絶反応が起こらないと考えられます。そのため、病気や事故で失った組織や臓器を人工的に作り移植する再生医療への活用が期待されています。

iPS細胞は神経や心筋・肝臓・膵臓などの患部の細胞に分化させられるので、その患部の細胞の状態や機能がどのように変化するかを研究することができます。このことにより、今までわからなかった病気の原因が解明できる可能性があります。

山中教授がiPS細胞作製の成功を発表して以来、政府はiPS細胞の研究を推進しています。

文部科学省により「iPS細胞等研究ネットワーク」が構築されており、経済産業省や厚生労働省も研究を支援する施策をとっています。

スマートフォン

パソコンのように、アプリケーションを追加することで、機能を拡張できる携帯電話端末を、スマートフォンといいます。普通の携帯電話よりもサイズが大きいタッチパネル付きのディスプレイを搭載し、一般のウェブサイトを閲覧できるフルブラウザやパソコン用メールの送信機能などを備えています。

それ以外にも、ゲームや音楽プレーヤー、カメラや電子決済など、様々な用途に利用することができます。携帯電話としても、パソコンとしても使えるスマートフォンを上手に活用するには、自分が楽しみたい用途に適した端末を選ぶことが大切です。スマートフォン選びのポイントとしては、ネットの快適性や操作性、端末のデザインなどが挙げられるでしょう。

自転車通勤してみませんか？

自宅から会社まで自転車で通勤する人を、「自転車ツーキニスト」といいます。自転車は運動不足解消に良い、CO₂を出さないなどという利点があり、全国的に人気上昇しています。特に通勤ラッシュが激しい東京では、満員電車を避けて自転車で通勤する人が増えています。

手軽に乗れる自転車ですが、安全のために進行方向に向かって道路の左側を通行しましょう。日本の自転車対自転車の事故のうち75%は出会いがしらの事故ですが、そのほとんどは自転車の右側通行が原因で起きているからです。

また、ヘルメットをかぶることも重要です。ヘルメットをかぶることで、事故を起こしたときに頭を守るだけではなく、車に対して“私は速い自転車です！”とアピールすることができます。ドライバーの間でも、ヘルメットをかぶった速い自転車が増えてきているという認識が広がっているようです。